

ティアレ 動物用翼状針

再使用禁止

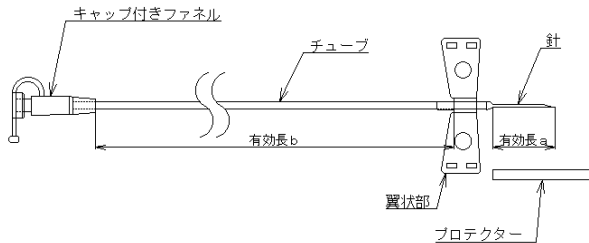
【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止。
- ・再穿刺禁止。
[適切に穿刺できない恐れがある。]
- ・血管造影剤注入等の高圧注入には使用しないこと。
[液漏れ、または破損の恐れがある。]

【形状・構造及び原理等】

- ・本品はエチレンオキサイドガス滅菌済である。
- ・本品はポリ塩化ビニル (可塑剤：フタル酸ジ (2-エチルヘキシル)) を使用している。

〈形状〉



サイズ呼称	針		チューブ	
	外径	有効長 a	外径	有効長 b
19G×19mm	1.1mm	19mm	2.3mm	300mm
21G×19mm	0.8mm			
23G×19mm	0.6mm			
25G×19mm	0.5mm			

〈原材料〉

ステンレススチール、ポリ塩化ビニル

〈原理〉

経皮的に静脈を確保し、薬液等を投与するための器具である。

【使用目的又は効果】

本品は、シリンジまたは輸液セット等に接続し、薬液等の投与に使用する。

【使用方法等】

以下の使用法は一般的な使用方法である。

- ①穿刺部位及びその周囲の皮膚を、消毒剤 (ポビドンヨード等) を用いて、十分に消毒する。
- ②キャップ付きファネルにシリンジまたは輸液セット等を接続する。
- ③薬液をチューブ内に満たし、針の先端より薬液が流れ出ることを確認する (プライミング)。
- ④翼状部をつまみ、針のプロテクターをまっすぐ引いて外し、静脈に穿刺する。
- ⑤静脈に穿刺した後、チューブ内に血液が流入するのを確認し、翼状部を絆創膏等で固定する。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

- ①プロテクターを外す場合には、針先がプロテクターに接触しないように注意すること。
[針先が変形して、切れ味が悪くなる恐れがある。]
- ②キャップ付きファネルにシリンジまたは輸液セット等を接続する場合は、接続部が外れないように確実に接続すること。
- ③チューブが患畜の下に挟まれないように注意すること。
[チューブの折れ、閉塞、部品の破損等が生じる可能性がある。]
- ④チューブを鉗子等でつまんだり、爪でつぶしたりしないこと。
- ⑤チューブの近くでハサミ、メス等の鋭利な物を使わないこと。
- ⑥チューブ及びチューブと接合している箇所は、無理に引っ張るような負荷やチューブを押し込むような負荷、チューブを折り曲げるような負荷を与えないこと。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- ①チューブ内が生体組織や血液で詰まる可能性があるため、穿刺する部位の状態について注意すること。
[硬化した外科手術痕に針を穿刺したとき、チューブ内に生体組織が詰まる、あるいはチューブ内で血液が凝固して詰まり、薬液注入ができなくなる恐れがある。]
- ②本品を鉗子等で強く掴まないこと。
- ③使用中は本品の破損、接合部の緩み及び漏れ等について、定期的に確認すること。
- ④プライミング後は直ちに薬液を投与すること。
[薬液が汚染される可能性、又はアルカリ性の強い薬剤等においては析出物が生じる可能性がある。]

〈不具合・有害事象〉

その他の不具合

過度な負荷による折れ、曲がり。

その他の有害事象

本品の使用により、以下のような有害事象が発症する恐れがある。

- ・出血、感染、静脈炎、血管外漏出
- ・誤穿刺

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿、殺菌灯等の紫外線を避けて清潔に保管すること。

〈有効期間〉

適正な保管方法が保たれていた場合、個包装に記載の使用期限を参照のこと。

[自己認証 (当社データ) による。]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〈製造販売業者〉

クリエートメディック株式会社

電話番号：0126-25-3777